

# 沖縄県島尻郡久米島からのコガネムシ科甲虫6種の記録

金子直樹・長野宏紀

〒243-0034 厚木市船子1737 東京農業大学昆虫学研究室

Records of Six Scarabaeid Beetles from Kumejima Island, Okinawa Prefecture, Southwestern Japan

Naoki KANEKO and Hiroki NAGANO

Summary: Distributional notes of the six scarabaeid beetles collected from Kumejima Island of Okinawa Prefecture are provided with some biological information. Three species, *Aphodius urostigma*, *A. postpilosus* and *Exomala okinawaensis*, are new to the island and occurrences of *Holotrichia loochooana okinawana* and *Anomala triangularis* are reconfirmed. In addition, outbreak of *Popillia lewisi* on the island is also reported.

島尻郡久米島（以下、久米島と略）は、沖縄諸島の最西部に位置する諸島内で2番目の大きさを誇る有人島である。島内の昆虫相調査は過去に数回行われており（高良・東，1974；長峰，1987；佐藤，1995；白杉，2008など）、現在までに32種のコガネムシ科甲虫が記録されている（藤岡，2001；東，2002；岡島・荒谷，2012）。筆者らは2015年6月と2016年5月に調査を行ったところ、久米島から未知であった3種を確認すると共に、近年の記録から欠落していた2種の分布を再確認したのでここに記録する。また、同島において、オキナワマメコガネ *Popillia lewisi* の大発生にも遭遇したため、興味深い知見の一つとして、合わせて報告する。なお、本文中で採集者名は以下のとおり略記する：金子直樹（NK）；長野宏紀（HN）。

## 1. ヒメフチケマグソコガネ *Aphodius urostigma* Harold, 1862

1 ex., 真謝，23. IV. 2015, HN（灯火採集）。

日本全国および東洋区に広く生息する広域分布種であり、沖縄諸島からは伊平屋島、伊是名島、沖縄島、座間味島の4島から知られる（越智，

2012）。久米島からは初めて記録される。この個体は街灯の下で見つかった。

## 2. フチケマグソコガネ *Aphodius postpilosus* Reitter, 1895

4 exs., 真謝，23. IV. 2015, HN（灯火採集）。

全国的に広く分布するとされているが、近年まで前種のヒメフチケマグソコガネと混同されていたため、正確な分布状況が不明であり、今後正確な分布記録の蓄積が必要とされている（木内，2013）。筆者らが確認したところ、これまでの確かな分布地域は、北海道、本州、九州、屋久島、薩摩竹島、薩摩黒島、奄美大島、吐噶喇中之島、吐噶喇宝島で、国外からは朝鮮半島、台湾に記録がある（越智，2012；木内，2013；Hosoya，2014；金子ら，2017）。久米島からは初めて記録される。これらの個体は街灯の下で見つかった。

## 3. オキナワセマダラコガネ *Exomala okinawaensis* (Ohaus, 1925)

3 exs., 比屋定，23. IV. 2015, HN（灯火採集）；2 exs., 真謝，24. IV. 2015, HN（灯火採集）。



図1. オキナワマメコガネと採集地。A、大発生が確認された、だるま山園地；B、シロノセンダングサに訪花中の個体。

シバ地や人工的な草地などの環境で発生するとされ、沖縄島、伊江島、瀬底島、浜比喜島、渡嘉敷島から記録されている(和田・栗原, 2012)。久米島からは初めて記録される。これらの個体はいずれも街灯の下で見つかっており、その周辺にはサトウキビ畑や放棄農地が広がっていたため、そこから飛来したものと予想される。

4. リュウキュウクロコガネ *Holotrichia lochooana okinawana* (Nomura, 1964)

2 exs., 久米島野球場, 19. IV. 2015, HN (灯火採集); 1 ex., 比屋定小学校, 25. V. 2016, NK (灯火採集)。

本種は、久米島において生息が確認されているにも関わらず(安田ら, 1978)、近年の文献(藤岡, 2001; 東, 2002; 岡島・荒谷, 2012)では同島の分布が含まれていなかった。今回、久米島で生息を確認したので改めて記録する。これらの個体はいずれも街灯の下で見つかった。

5. サンカクスジコガネ *Anomala triangularis* Schonfeldt, 1890

6 exs., 久米島野球場, 24. V. 2016, NK (灯火採集); 2 exs., 比屋定, 25. V. 2016, NK (灯火採集); 1 ex., 久米島野球場, 26. V. 2016, NK (灯火採集)。

前種のリュウキュウクロコガネと同様に、本種も安田ら(1978)以降久米島からの記録が欠落していた。今回、久米島で生息を確認したので改めて記録する。これらの個体はいずれも街灯の下で見つかった。

6. オキナワマメコガネ *Popillia lewisi* Arrow, 1913

4 exs., 久米島野球場, 24. V. 2016, NK; 113 exs., だるま山園地, 25. V. 2016, NK; 13 exs., 久米島野球場, 26. V. 2016, NK; 4 exs., アーラ岳, 26. V. 2016, HN; 8 exs., 久米島野球場海浜付近, 28. V. 2016, NK; 10 exs., 久米島野球場海浜付近, 29. V. 2016, HN; 1 ex., 仲村渠, 30. V. 2016, NK。

本種は沖縄諸島の沖縄島、座間味島、粟国島、久米島および、奄美群島の沖永良部島に分布する日本固有種で、採集例はあまり多くなかったが、楠井(2012)によって局所的に非常に多くの個体が発生することが報告された。楠井(2012)は久米島からも本種を記録しているものの、採集された標本は1

個体のみであったため、多産地域という認識ではなかった。しかし、今回島内の海浜から内地にかけての広い範囲で非常に多くの個体が発生しているのを確認した。特に多くの個体数が確認された「だるま山」山頂付近の園地(図1A)においては、イジュやシロノセンダングサの花に頻りに飛来し、花粉や花弁を摂食する多くの個体が観察され(図1B)、30分ほどで113個体が採集された。

謝辞

文末ながら、原稿を校閲して頂いた東京農業大学の小島弘昭・石川忠両博士に感謝の意を述べる。

引用文献

- 東 清二, 2002. 琉球列島山昆虫目録(沖縄県産生物目録シリーズ1). 570 pp. 沖縄生物学会.
- 岡島秀治・荒谷邦雄, 2012. 日本産コガネムシ上科標準図鑑. 444 pp., 学研, 東京.
- 越智輝雄, 2012. マグソコガネ亜科ツツマグソコガネ族. Pp. 46, 215-220. 岡島秀治・荒谷邦雄(監修)日本産コガネムシ上科標準図鑑. 444 pp., 学研, 東京.
- 金子直樹・嶋本習介・小島弘昭, 2017. 薩摩黒島からのコガネムシ科甲虫6種の記録. さやばねニューシリーズ, (23): 46-47.
- 木内 信, 2013. 2種のフチケマゲソ: フチケマゲソコガネとヒメフチケマゲソコガネ. 鯉角通信, (26): 105-110.
- 楠井善久, 2012. オキナワマメコガネの分布と生態. KOGANE, (13): 69-75.
- 佐藤文保, 1995. 久米島の小動物. 久米島総合調査報告書—自然・歴史・民俗・考古・美術工芸・建築—(364 pp): 26-64. 沖縄県立博物館.
- 白杉滋郎, 2008. 久米島採集記. 鯉角通信, (16): 61-66.
- 高良鉄夫・東 清二, 1974. 久米島の昆虫相. 久米島県立自然公園候補地学術調査報告—沖縄自然研究会調査報告第1号—(110 pp): 71-88. 沖縄自然研究会.
- 長峰邦夫, 1987. 久米島の5月の採集報告(1986年). 琉球の昆虫, (11): 34-36.
- 藤岡昌介, 2001. 日本産コガネムシ上科総目録. 297 pp. コガネムシ研究会, 東京.
- Hosoya, T., 2014. Re-identification of the species of *Aphodius* (*Aganocrossus*) (Coleoptera, Scarabaeidae, Aphodinae) in the Tokara Islands and Kami-mishima, Kagoshima Prefecture, Japan. *Elytra*, new series, Tokyo, 4: 121-124.
- 安田慶次・石原博一・諸見里安勝, 1978. 久米島のサトウキビ畑におけるコガネムシ類の発生について. 九州病害虫研究会報, 24: 130-132.
- 和田 薫・栗原 隆, 2012. スジコガネ亜科スジコガネ族. Pp. 78, 336-337. 岡島秀治・荒谷邦雄(監修)日本産コガネムシ上科標準図鑑. 444 pp., 学研, 東京.

(2017年5月28日受領, 2017年6月17日受理)